学校番号	T1202

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	基礎教養４	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語は漢字検定準２級相当の漢字の学習を基本に、発展的な読解力・表現力の育成をめざす。
・数学は数学Ⅰにおける三角比の計算の基礎を学習する。
・社会は歴史・地理・政治経済の一般常識について学習する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・日常生活を営む上で必要な教養や知識の定着を図るとともに、諸資料から社会に生きる人間として主体的に活動するために必要となる情報を効果的に調べてまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
・現代の社会で活用できる教養や知識を幅広く学び、それらの知識を横断的に分析・整理し、現代的諸課題に対して実践的かつ適切な判断力をもって解決策を提示できるような力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・公共空間を生きる社会人として、幅広い教養や知識を学ぶことの意義や重要性について自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	漢字力、基礎計算力、社会的一般常識などの教養を知識として定着させるとともに、それらを用いた日常生活における諸活動に活用できる技能を修得している。	現代の社会で活用できる教養や知識を幅広く学び、それらの知識を横断的に分析・整理し、現代的諸課題に対して適切な判断力をもって解決策を提示できる。	現代の社会で活用できる教養や知識を意欲的に幅広く学び、就職試験など卒業後の進路決定に役立つ基礎的な学力の定着を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 5月	就職試験問題を知る	・就職試験を念頭にしたプリント教材で一般的な問題に取り組む。	a:就職試験などに出る基礎的な知識を習得し理解している。 b:解いた問題をもとに自己分析を行うことができる。 c:意欲的に問題に取り組むことができる。	学習課題 ・小テスト	確認課題 振り返りレポート	学習目標の設定 取り組み態度
6月 7月	一般教養国語	・国語の問題に取り組む。	a:漢検準２級相当の知識や、国語に関する基礎的な知識を習得し理解している。 b:解いた問題をもとに自己分析を行うことができる。 c:意欲的に問題に取り組むことができる。	学習課題 小テスト	確認問題 振り返りレポート	学習目標の振り返り 取り組み態度
9月 10月	一般教養数学	・数学の問題に取り組む。	a:二次不等式に関する基礎的な知識を習得し理解している。 b:解いた問題をもとに自己分析を行うことができる。 c:意欲的に問題に取り組むことができる。	学習課題 小テスト	到達度チェック課題 振り返りレポート	学習目標の振り返り 取り組み態度
11月 12月	一般教養社会	・社会一般の問題に取り組む。	a:社会一般の基礎的な知識を習得し理解している。 b:解いた問題をもとに自己分析を行うことができる。 c:意欲的に問題に取り組むことができる。	学習課題 小テスト	到達度チェック課題 振り返りレポート	学習目標の振り返り 取り組み態度
1月 2月	就職試験問題に挑戦する	・就職試験を念頭においたプリント教材で総合的な問題に取り組む。	a:就職試験などの全体的な問題の知識を習得し理解している。 b:解いた問題をもとに自己分析を行うことができる。 c:意欲的に問題に取り組むことができる。	学習課題 小テスト	到達度チェック課題 振り返りレポート	学習目標の振り返り 取り組み態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度